

令和6年度

発行日：令和6年5月1日 No.1（通算79号）

トータルサポートセンターだより



発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター トータルサポートセンター（TSC）

〒624-0812 京都府舞鶴市字堀4の1 TEL 0773-78-3133 FAX 0773-78-3135

御挨拶

校長 山本 直之

日ごろは、本校の教育並びに「舞鶴支援学校トータルサポートセンター」の活動に御理解、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

「地域の支援力向上」を目標に掲げて開校と同時に設置した地域支援センター「舞鶴支援学校トータルサポートセンター（TSC）」は、毎年年間200件前後の多様なニーズに対応して教育相談や研修支援等に取り組んできました。学齢期の子どもの減少傾向が続く中、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校で学ぶ児童生徒は全国的に顕著な増加傾向にあり、国連が日本政府に「障害児を分離した特別支援教育の中止」を要請し、インクルーシブ教育に向けた行動計画の策定を求めたことは記憶に新しいところです。

そうした状況も踏まえ、今年度文部科学省では「インクルーシブな学校運営モデル事業」を実施することとし、この度、全国14か所の内の一つとして京都府の舞鶴市・城南中学校校区における取組が採択されました。校区の小中学校等と特別支援学校（舞鶴支援学校・聾学校舞鶴分校）による継続的・計画的な交流及び共同学習の実現を目指すことを軸にしながら、それを支える学びの場の整備、教職員の校種を超えた研修・研究・人材育成体制の構築など、これまでの取組をさらに柔軟な発想で展開させ、障害のある・なし、支援する・される関係で終わらない多様なつながりの中で、子どもが本気で学習に向き合う経験を共にすることができるよう、研究を進めてまいります。

また、昨年度小学校で展開した京都府総合教育センターのプロジェクト研究「特別支援学級の授業づくり—自立活動の指導を軸に—」は中学校に舞台を移し、学校と総合教育センター、特別支援学校等がタッグを組んで、授業づくりに知恵を寄せ合い実践力向上を図る貴重な機会として、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

開校20年目を迎え、TSCは、センター長と3名の地域支援コーディネーターを中心に、他の地域支援センターや各分野の専門家とも連携しながら、舞鶴市内の特別な支援を必要とする子どもたちの多様なニーズに対応し、「わかった」「できた」「もっとやりたい」子どもの笑顔に出会えるよう現場の先生方と一緒に考えに考えて、また、そうした積み重ねにより、子どもたちの成長と幸せの実現に貢献することができるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

舞鶴における特別支援教育のセンターとして

センター長 中森 裕

平成19（2007）年度、改正学校教育法が施行されるにあたり、各地にある特別支援学校は、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮するよう法律で規定されることになりました。本校及び当センターは、それよりも2年早く17（2005）年度、開校と同時に活動を始めました。今年度で20周年を迎えます。この間、当センターは舞鶴市における特別支援教育のセンターとなるべく、巡回教育相談をはじめとした様々な活動を実施してまいりました。これからも舞鶴市内の子どもたちを誰一人取り残さないよう、必要な支援が全ての子どもたちに届くよう、各校園の先生方と一緒に支援について考えていきます。まず、舞鶴支援学校トータルサポートセンターへお電話ください。

トータルサポートセンターでは4つの相談・支援を行っています
～障害や発達について困っていることや悩んでいることの相談に応じます～

- ① 教育相談(巡回・来校・電話)
- ② 研修支援(研修会講師派遣、研修講座の開催、特別支援教育に関する情報提供)
- ③ 教材・教具に関する相談と貸し出し(書籍、国語・算数等の学習支援のための教材)
- ④ 短期入院児童生徒への学習支援についての相談(行永分校が窓口)

研修講座案内

令和6年度 特別支援教育合同研修会

講師 伊藤 駿 氏

(京都教育大学教育 創生リージョナルセンター機構 総合教育臨床センター
学びサポート室 [知的ギフト教育支援部門])

「ギフトの子どもたちの理解と支援(仮)」

6月24日(月) 14時15分～17時00分 場所：西駅交流センター3階

舞鶴市教育委員会・舞鶴市乳幼児教育センター・舞鶴支援学校が共催し、
舞鶴市内の教育関係者や行政等の関係機関の職員を対象とした研修会です。

※各所管よりお知らせします。

令和6年度 京都府北部特別支援教育夏季研修講座

講師 高松 崇 氏

(NPO法人支援機器普及促進協会理事長)

「ICT機器を活用した支援について(仮)」

8月20日(火)

舞鶴支援学校・中丹支援学校・与謝の海支援学校が共催で実施します。内容については、
詳細が決まり次第、お知らせします。